



子どもが「守れるルール」をつくり、「ルールを守れた」成功体験を！

●どんなルールをつくといいの？

ヒント

- ・ ルールの数は少なく (2つか3つ)
- ・ 公平なルール (家族全員が取り組めるもの)
- ・ 守りやすい (子どもができること)
- ・ ルールが守れなかった時に、やり直して練習できるもの
- ・ 「何をしていけない」ではなく「何をするか」(・走らない→歩く・騒がない→静かにする)



※家族で確認ができるように、ルールを紙に書いて、
家の中に貼ってみませんか。

子どもが字を読めない場合には、イラストや実際の写真などを使
って子どもが理解できるようにしてみましょう。

●「家庭にルールをつくる」メリット

- ・ 事前にルールを確認することにより、怒ることが少なくなる。
- ・ 子どもは何が正しい行動かを理解しやすくなる。
- ・ 子どもの良い行動が増えやすくなる。
- ・ ルールを守れなかった時に子ども自身で行動を修正しやすくなる。

※ルールが定着するためには、
「守れていない時」に教えるのも大切ですが
「守れている時」にほめる(認める)ことが重要です。



体験記「ルールをつくってみました」

(女の子2歳のママの体験記)

娘は店の中で言うことを聞かないし、勝手におかし売り場へ直行したかと思えば、すぐに「家に帰りたい」と言うので、娘と一緒に買い物に行くことがイヤでした。

「おはなし会」に参加して、ルールのつくり方を教えてもらいました。

買い物のたびに注意をしても言うことを聞かないので、ルールをつくっても

何も変わらないと思っていましたが、「おはなし会」に参加していたママからの成功した

話を聞き、我が家でも「店の中はママと一緒に歩く」という、ルールをつくることにしました。

家を出る時、お店までの車中、店に入る前に、ルールについて娘に確認してみるとしっかりと覚えていました。

だから「みいちゃん、ルール覚えていてすごいね」とほめました。また、ヒマになると困った行動をする娘のために

買い物リストをつくと良いとも教えてもらったので、まだ字が読めない娘のためにイラストのリストをつくりました。

二人でリストを見ながら売り場を確認して歩きました。娘が品物の名前や売り場を覚えていたことは嬉しい発見でした。

娘と一緒に歩いてくれる時だけでなく、いろんなことを知っていることがうれしくて、そのこともほめました。はじめて娘との

買い物を楽しいと思えました。これからも買い物の練習をしていきたいと思います。



子育てのコツ



家庭のルールをつくる

(子育て手帳 P.32 を参考にしてみましょう)

子どもが、何が期待される行動か、どう振る舞えばいいかを知るためには、ここまでという限度が必要です。シンプルな基本ルールが役に立ちます。ルールは何をするかを教えるもので、何をしないかを教えるものではありません。

子どもと一緒に家庭のルールを作りましょう。

【家庭のルールの例】

○お店の中は、ママの横を歩く

✕お店の中は、走らない



※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。

市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。

